

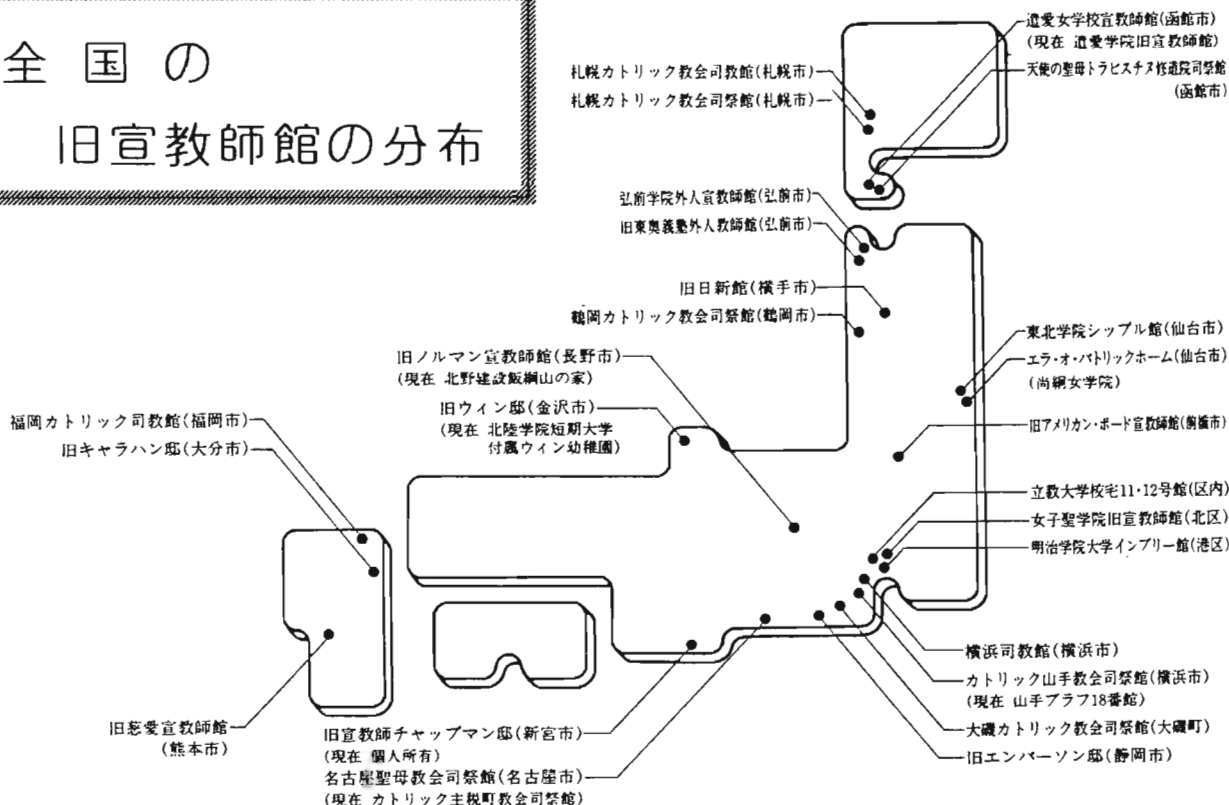
雑司が谷旧宣教師館だより

第18・19合併号
2001年3月10日発行

豊島区立雑司が谷旧宣教師館

〒171-0032 東京都豊島区雑司が谷1-25-5 ☎ F A X (03)3985-4081

全国の 旧宣教師館の分布



【宣教師館の所在調査】

本館2階の建築としての宣教師館のコーナーには現存する戦前の宣教師館の分布を示したマップが展示してあります。平成8年にそれらの現況を把握するために「宣教師館の所在調査」を行いました。その結果は2・3ページの通りですが、この調査は可能な限り行ったものであってすべてを網羅したものではありません。

例えば上田市指定文化財「旧宣教師館」(明治37(1904)年築・平成6年7月一般公開)は平成5年までは個人所有の住宅兼病院であったため、所在調査の対象とはなっていませんでした。また平成10年には、会津若松市に宣教師ノッス※①の住居(明治43(1910)年築)が財団法人の病院の敷地内に残っていることが判明するなど、新たな発見もみられることをあらかじめお断りしておきます。

この調査結果によればかつての宣教師館は(1)学校法人所有(2)市町村の文化財として一般公開(3)教会所有 その他の3つの形態で保存されてい

ます。学校所有の宣教師館の中には国や都道府県の文化財に指定されているものが少なくありません。平成12(1998)年に明治学院大学インブリー館は重要文化財に指定されました。

【宣教師館の現状】

九州・大分市にある旧キャラハン邸は現在日本文理大学が所有しています。宣教師キャラハン※②は中津において布教と共に英語教育や農業技術の指導にもあたり、中津でキャラハン豆と呼ばれる豆の栽培技術を伝えました。自らが鋤を持って農作業に汗水流し親身になって指導を続ける姿は、多くの農民たちの共感を呼び厚く支持されたといえます。

昭和60(1985)年よりキャラハン邸が無人となり荒廃が進行した時、解体の話に端を発して市民グループが保存運動を起こしました。解体か保存か、中津に残るか他の土地へ移転されるのかと長い期間にわたり地域世論を賑わせた結果、平成4(1992)年5月「県民共有の財産として保存・活用を」ということで、大分市の日本文理大学に移転復元しました。

戦前に建てられた宣教師館の現況アンケート集計結果 (1)

	カトリック札幌司教館	遠愛学院旧宣教師館	天使の聖母女子修道院司祭館	旧東奥義塾外人教師館	旧日新館
現 名 称	カトリック札幌司教館	遠愛学院旧宣教師館	天使の聖母トリスチア修道院	旧東奥義塾外人教師館	旧日新館
所在地	札幌市中央区北1条6丁目10	函館市杉並町23番11号	函館市上湯川町346番地	弘前市大字下白銀町2番1号	秋田県横手市城南町7番1号
在 所有者	カトリック札幌司教区	学校法人遠愛学院	宗教法人天使の聖母トリスチア修道	弘前市	(個人所有)
建 名 称		ホワイトハウス	トラビスタス修道院司祭館	不詳	日新館
年 代	不詳(昭和27年)	明治41年(1908年)	大正2年(1913年)	明治33年(1900年)	明治35年(1902年)
築 持 主	札幌市 吉田豊	遠愛女学校	天使の聖母トリスチア修道院	日本メソジスト宣教師社団	小坂 亀松
時 設計者	不詳	ミス・ハンプトン(推定)	不詳	不詳	不詳
施工者	不詳	不詳	不詳	辻 木 _____	大工棟梁 藤村初五郎
移築の有無	無	無	無	無	無
旧所在地					
構 造	木造亜鉛メッキ	木造二階建	1階 165㎡ 延床面積 2階 99㎡ 地階 74㎡ (338㎡)	木造2階建 鉄板葺 建築面積 211.65㎡ 延床面積 341.04㎡	建築面積 98.006㎡ 延床面積 160.114㎡
規 模	鋼板葺 2階建				
建築形態の特徴		基礎レンガ積、外壁横羽目板 胴蛇腹破風	外壁 レンガ造	木壁造 寄棟造 ベイウインドウ	半トラス組木造二階建住宅
意匠上の特徴		白ペンキ塗	全体的にロマネスク建築	レンガ積みの基礎や煙突 ペンキ塗の下見板	洋館には珍しい素木造の住宅で 明治期の洋風建築の特色を有している
現存の有無	有	有	有	有	有
取壊し時期					
理 由					
現在の状態	札幌司教区事務所	法人理事会同窓会会議室	修道院司祭館	復元	一般住居として使用されている
公開の有無	無	無	無	有	有 水曜(9:00~16:00)のみ
料 金				有料(320円)	無料
案内書	無	無	有		有
その他		北海道指定有形文化財 (昭和57年)		昭和63年 弘前市に寄贈 青森県指定文化財 (平成5.1.22指定)	秋田県指定有形文化財(建造物 昭和59年3月10日指定) 設計に小坂氏、英語教師チャールズ・ C.チャップマン、大工棟梁藤村初五郎 の関与は考えられる

戦前に建てられた宣教師館の現況アンケート集計結果 (2)

	鶴岡カトリック教会司祭館	旧カトリック山手教会司祭館	旧エンバーソン邸	ノルマン邸	旧アメリカン・ボード宣教師館
現 名 称	鶴岡カトリック教会司祭館	ブラフ18番館	旧エンバーソン邸	旧ダニエル・ノルマン邸	旧アメリカン・ボード宣教師館
所在地	山形県鶴岡市馬場町7番19号	横浜市中区山手町16番地	静岡市池田字ヶ谷52番地	長野市上ヶ屋麓原2471-1123	群馬県前橋市岩神町2-3-5 共愛 学園内
在 所有者	カトリック 新潟教区長司教佐藤敬一	横浜市	静岡市	北野建設(株)	学校法人共愛社
建 名 称	鶴岡カトリック教会司祭館	山手45-1番館(通称)	宣教師館	ダニエル・ノルマン邸	宣教師住宅
年 代	大正3年(1914年)	大正13年(1924年)	明治37年(1904年)	明治37年(1904年)	明治25年(1892年)
築 持 主	新潟初代教区長ライネルス神父	R・C・パウデン氏	カナダメソジスト教会	ダニエル・ノルマン	アメリカン・ボード
時 設計者	フレデリック・ガブリエル神父(企画者)?	不詳	不詳	ダニエル・ノルマン	不詳
施工者	不詳	不詳	不詳	大工棟梁 内田繁蔵	斎藤善太郎
移築の有無	無	有(平成4年)	有	有	無
旧所在地		横浜市中区山手町45-1	静岡市西草深町15-19	長野市南栗町	
構 造	洋風木造瓦葺二階建	木造2階建	木造寄棟造二階建 浅瓦葺	洋風木造二階建 カラー鉄板葺 1階 140.00㎡ 2階 110.89㎡	木造二階建 浅瓦葺 建築面積 150㎡
規 模					
建築形態の特徴	窓回りに三角形のペジメントや 鐵戸をつけ、下見板張り	中廊下型の平面構成 外壁材料モルタル仕上げ	下見板張り	窓回りに三角形のペジメントや 鐵戸をつけ、下見板張り	切妻造 大壁造り下見板張り
意匠上の特徴		フランス瓦葺の屋根、煙突、ベランダ ひき上げ下げ窓と鐵戸、玄関ポーチ、 南側のバルコニー・サンルーム など	蛇腹、手すり		基礎・二基の煙突レンガ積
現存の有無	有	有(復元)	有	有	有
取壊し時期		平成4年			
理 由		老朽化			
現在の状態	司 祭 館	横浜山手暮らしと歴史の資料館	静岡市の文化財として一般公開	司 祭 館	
公開の有無	無	有	有(※)	無	有(※)
料 金		無料但し利用は1000~2000円	無 料		有
案内書		有	有		
その他		部材を市に寄贈し復元	(※) 休館日 土・日・祝日 9:00から4:00		(※) 休館日 日・祝日他 9:00から4:00

戦前に建てられた宣教師館の現況アンケート集計結果 (3)

	旧フルトン邸	旧ウィン館	名古屋聖母教会司祭館	旧宣教師チャプマン邸	カトリック福岡司教館
現名称	取壊し	旧ウィン館(北陸学院短期大学付属の幼稚園)	カトリック主税町教会司祭館	個人所有	カトリック福岡司教館
所在地		金沢市石引3丁目2番10号	名古屋市東区主税町3番33号	和歌山県新宮市伊佐田	福岡市中央区浄水通39番地
所有者		学校法人北陸学院	宗教法人カトリック名古屋教区	個人	カトリック福岡司教区
名称	フルトン邸	ウィン館	司祭館	チャプマン邸	福岡司教館
年代	明治20年頃(1887年)	明治24年(1891年)	明治23年(1890年)頃	大正15年(1926年)	大正8年(1933年)
持主	G・W・フルトン	T・C・ウィン	パリ外国宣教師会	E・N・チャプマン	日本福岡教区天主教宣教師団
設計者	不詳	不詳	ティルバン神父か?	西村伊作	J. J. Svagr. M. Sc., B. A. Architect I. Yokohama, Bluff. 42-B
施工者	不詳	T・C・ウィン	不詳	西村建築事務所	井上組(井上弥六)
移築の有無	取壊し	有	無	無	無
旧所在地	金沢市石引3丁目3番12号	同敷地内			
構造	木造二階建	木造二階建 瓦葺	木造二階建	木造二階建 一部地階	木造二階建 瓦葺
規模				三階(屋根裏)	
建築形態の特徴	コロニアル・スタイル	コロニアル・スタイル 下見板張り、ペンキ塗り仕上げの外壁	米国产チーク材を用いた建築	平面形としてはホール中心 居間中心型住宅	洋風建築
意匠上の特徴	階段手すり子、親柱のろくろ仕上げ、天井の中心飾り、蛇腹の漆喰	妻格子、和小屋の和様の技法 ベイ・ウィンドウ(1・2階前面)			内部大壁、漆喰天井、外部擬石塗り仕上げ
現存の有無	無	有	有	有	有
取壊し時期	昭和60年頃				
理由	所有者の都合				
現在の状態		ウィン幼稚園として使用	信者会館		司教住居
公開の有無		無	無		
料金					
案内書			無		
その他	横浜の職人が施工	金沢市指定保存建造物(昭和57年)			

戦前に建てられた宣教師館の現況アンケート集計結果 (4)

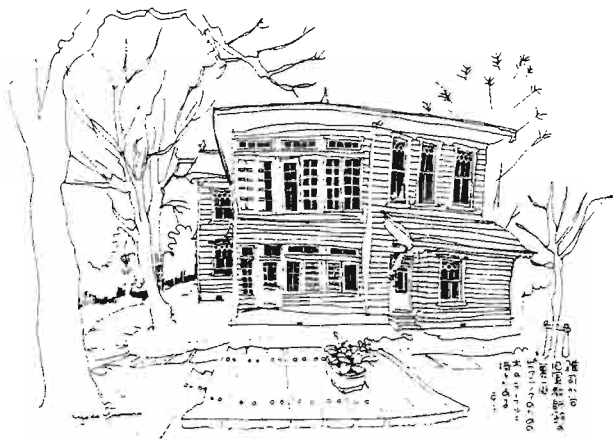
	旧アメリカ人宣教師住宅	旧慈愛園宣教師館	明治学院インブリー館	立教学院ライフスナイダー館	雑司が谷旧宣教師館
現名称	NBJ旧宣教師館キャラハン邸	慈愛園家庭福祉相談所事務所	明治学院インブリー館	立教学院ライフスナイダー館	豊島区立雑司が谷旧宣教師館
所在地	大分市大字一木 1727-162	熊本市神水1丁目14番地1号	港区白金台袋1丁目2-37	豊島区西池袋3丁目34-1	豊島区雑司が谷1丁目25-5
所有者	学校法人 文理学園	慈愛園家庭福祉相談所事務所	学校法人 明治学院	学校法人 立教学院	東京都豊島区
名称		慈愛園宣教師館	インブリー館	1号館	マッケレーヴ邸
年代	明治36年頃(1903年)	昭和2年(1927年)	明治21年(1888年)頃	昭和2年(1927年)	明治40年(1907年)
持主	W・J・キャラハン		学校法人 明治学院	学校法人立教学院	J・M・マッケレーヴ
設計者	W・J・キャラハン		不詳(建築デザインはJ.V.W.ハーガット)	不詳(建築デザインはJ.V.W.ハーガット)	不詳
施工者	不詳		清水組	清水組	大工棟梁 藤崎氏
移築の有無	有(1992年)		有 無	無	有(曳家)
旧所在地	中津市金森森の裏町				同敷地
構造	木造瓦葺檜棟二階建		コンクリート造 二階建て (一部地下室あり)	コンクリート造 二階建て (一部地下室あり)	木造二階建 屋根檜葺 1階 116.1075㎡ 2階 108.1075㎡
規模	延べ311.75㎡				
建築形態の特徴	下見板張り白ペンキの外壁 鍍戸付きの上げ下げ窓		ルネサンス様式風	ルネサンス様式風	下見板張り、オイルペイント 塗り、上げ下げ窓、張出窓、 シングル葺
意匠上の特徴	レンガ造りの3本の煙突		鉄筋コンクリート構造の住宅としては、わが国では先駆的な構造形式の建物	鉄筋コンクリート構造の住宅としては、わが国では先駆的な構造形式の建物	カーバンターゴシックの棟飾り アール・ヌーヴォーのモチーフ を取り入れたタイルの暖炉
現存の有無	有		有	有	有
取壊し時期					
理由					
現在の状態	大学のシンボルとして公開		同窓会会館	事務スペース	豊島区指定文化財
公開の有無	有		無	無	有
料金	200円				無料
案内書	有				有
その他	生きた建築教材、文化財として保存 国際交流活動のシンボルステージとして各種イベントに使用		昭和58年10月18日 東京都港区指定有形文化財(歴史資料)		

日本文理大学は旧キャラハン邸を一般公開し、学生には生きた建築教材としてまた国際交流活動のシンボルステージとして活用されています。

横浜の旧カトリック山手教会司祭館は「ブラフ18番館」（横浜山手・暮らしと歴史の資料館）として山手・イタリア山庭園内に移築復元されました。館内は大正末期から昭和初期の外国人住宅の暮らしを再現し、元町で製作されていた当時の横浜家具を復元展示し、実際に当時の暮らしを体験することができます。また同館は復元時にホール等付属設備を併設し、研修会や展示会用に貸し出すなど有効活用を図っています。

【港から内陸へ】

全国の旧宣教師館の分布図より、札幌・函館・弘前・鶴岡・仙台・東京・横浜・名古屋・新宮・金沢・福岡・中津・長崎・熊本から横手・会津・前橋・長野・松本へと、宣教師たちは港から内陸へと布教活動を行っていったことが読み取れます。



【地域における宣教師たちの果たした役割】

弘前においてイング宣教師※③は西洋リンゴを紹介してその地に根づかせ、キャラハン宣教師は中津にキャラハン豆を普及させるなど、宣教師たちは任地の人々の中に溶け込んで苦勞を共にし、住民たちの生活の向上に貢献しました。それぞれの教会において信者の数は決して多くはありませんでした※④が、宣教師たちの伝道生活が宗教を越えて西洋の文化や暮らしを伝える活動として広く地域の人々の中に浸透していきました。

本館一階食堂のテーブルの上に、所在調査の際に収集した資料およびパンフレットのファイルがありますので併せてご覧ください。また様々な情報をお持ちの方はお寄せくださいますようお願いいたします。

※① クリストファー・ノース(1869～1934) アメリカ・ドイツ 改革派教会宣教師、インディアナ州出身。ペンシルベニアのユナイテッド・メソジスト神学校を卒業。1896年仙台神学校（現・東北学院大学）に倫理・弁証学の教授として

招聘される。ノースの赴任した日本基督教会津若松教会（1894年創設）で、1895年に野口英世が洗礼を受けている。

② ウィリアム・ジャクソン・キャラハン、アメリカ・ジョージア州出身。1891年、YMCA 事業の教師として来日。宣教師マサと結婚後メソジスト教会に入り、1894年宣教師として中津に赴任。

③ フォン・イング(1840～1920) アメリカ・イリノイ州出身のメソジスト 監督教会の宣教師。1874年東奥義塾の英英語教師として招かれ、弘前に着任。本多庸一と協力して弘前教会の基礎を作る。トマト・アスパラギ等種子苗木を移入する。

④マッケルブの雑司が谷教会は、設立後19年間の受洗者は 160名であった。

来館者の声

♡日当たりが良くてきれい。台所のピアノは弾いてもよいのですか？（20代、女、仙台市、雑誌の記事を見て、初めて、1/5）

*ピアノ・オルガン自由にお弾きください！

（他のお客様の迷惑にならないように）

♡建築的に見ても細部に意匠がなされていてとても良かった。雑司が谷全体の歴史なども紹介しているのが興味深かった。（20代、男、埼玉県、ガイドブックをみて、初めて、1/13）

♡あの地下室はなんですか？（10代、女、文京区、3回目～、1/31）

*床下貯蔵庫です。秋に収穫した野菜や根菜、手作りジャムなどを保存していたようです。廊下の板を持ち上げると階段に赤いサンダルが置いてあります。◎児童だけの場合は付属棟の係員に声をかけてからお入りください。



【編集後記】

営団地下鉄より地下鉄入口付近掲示の当館案内図の撤収依頼あり。理由は一つを許可すると際限なく無断で広告が取り付けられ美観を損なうため。確かにとやむなく撤収。一方、都電とJRのパンフレットには掲載可能となりましたが、やはり案内板への表示を目指し再度交渉にいったまいます。（文責 浜地）